

## ～ 第6回神戸学生イノベーターズグランプリ ～

### 活動の様子



### 企画・活動概要

I-1グランプリとは、2009年から行っている『課題解決プログラム』。



### 経緯・背景・目的

社会に新しい価値をもたらす変革(イノベーション)を興す知恵を備えた人材育成を目的として、企業が直面している課題を学生らしい視点やマーケティング手法を活用して解決・提案する企画。



### 取り組む課題

六甲山観光株式会社『コロナ禍により大打撃を受けた、六甲山観光の収益改善』に対する提案  
 【対象施設と具体的な課題】  
 (A) 六甲山アスレチックパークGREENIA：平日や土曜日の集客が不足  
 (B) ROKKO森の音ミュージアム：リニューアル後の集客が不足  
 (C) 六甲ガーデンテラス：来場者の客単価が低いこと  
 (D) 六甲ケーブル：平日の集客不足・夜景スポットとしての認知度不足  
 2. 六甲山ならではの新しいグッズ・お土産・記念品・フードメニューの商品開発



### 本学(学生)の役割

現地調査を行い、六甲山観光株式会社から提示された4つの課題に対して、解決案を検討し、提案すること



### 活動結果・成果・学生が成長した点・学生が身につけた能力

企業の収益改善を検討するにあたり現地調査を行ったが、当初は表面的な課題を主観的に設定し、解決策を検討するといった短絡的な発想だった。しかし、六甲山観光株式会社の現状を統計的に押さえること、また神戸・近畿・日本全体の観光実態を調査し、比較対象として検討することを学んだ。その他、プレゼンテーションを準備するにあたって、自分が伝えたいことではなく、対象者に課題認識が明確に伝わり、直ぐに導入可能な提案を準備する能力が身についたと思います。



### 指導教員および関係者の紹介

#### <指導教員>



人間社会学部  
人間社会学科  
准教授  
監徳積(ワキホツミ)  
 <専門・担当科目等>  
地域社会学、統計調査法、  
サービス消費論、商業施設経営論等

#### <関係者・企業等>



六甲山観光株式会社